

旅立ち

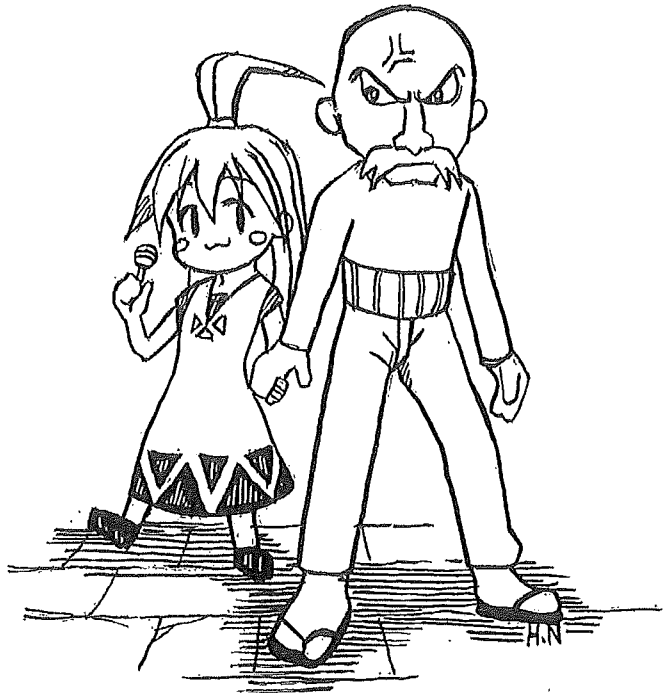
社会福祉法人しらとり会
利用者通信 (NO. 59)
令和2 (2020) 年5月1日発行

今月は、5名の方からの投稿です。

謎かけ

・「おい、牛肉要らねえか?」と、訊いたとかけて
「要らねえよ!」と、突き返したと解く
その心は? 「だったら、何でアメリカにそう言わないんだ!」。
・ギリシャに住んでいる友人に手紙を出したとかけて
「お送り出来ません」と、返って来たと解く
その心は? 宛てが無い、あてねえ。

(岡本 祐子)



同志社大学物語 ～大学編～ (その7)

4年次は、卒業に必要な単位まであと36単位で、落とすかどうか心配していました。ワンルームマンションに引きこもりになるのが嫌で、「ちくたく」という今出川浄福寺近くの喫茶店に一人でいました。立命館大学産業社会学部のNさんがウェイトレスをしていて、とても可愛い女の子だったのですが、その頃の僕は、彼女に話しかける事もできませんでした。家に帰っても一人なので淋しくて仕方がなかった。その後に知り合いだった京都大学のKさんが同じワンルームマンション(200人位いたかな)で、風邪を引いて寝込んだので彼女の部屋に食料を持っていきました。

(Y.Y)



- 実務能力を身に付ける為に法科大学院を作ったのに実務とはこうですよと法学部と同じやり方で講義している。
- 勉強してから行動と言う既存の大学のやり方では実務能力は絶対身に付かない。
- 教えられなければ分からない司法改革もあいまって飯の食えないニート弁護士が増えるのも無理はない。
- 法律家でさえ実務能力がないのに素人の国民に正しい判断ができるのか？
- 裁判員である。
- 最高裁に裁判大学院が出来て実務能力のない裁判官が誕生し、判事補と判事の間でお茶汲み・コピーとりをする軒判、いそ判ができる。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

読んでいただいた方からのご感想をお寄せください。また、利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

次回の締切は、5月15日（金）です。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A.-Z.、H.A.